

VMWARE AIRWATCH ソリューションが 選ばれる 10 の理由

エンタープライズ向けモビリティ管理とは ビジネス保護の重視

モバイル デバイスの数と種類が増えるにつれ、モバイル デバイスを生産性向上のツールとして利用し、企業の競争力強化につなげたいとの要望が、エンドユーザーと事業部門のリーダーの間で高まっています。

IT 管理者にとっての新たな課題は、モバイル管理や企業データの確実な保護に加え、既存のインフラストラクチャを現在のモバイル環境に対応させ、変化するビジネス ニーズに適応できる管理ソリューションを提供することです。

エンタープライズ モビリティ管理プラットフォームでは、セキュリティ、ID、アプリケーション、およびコンテンツの管理を含む管理フレームワークに、個人所有および企業所有のモバイル デバイスを統合できます。

エンタープライズ向けモビリティ管理

モバイル デバイスの活用がエンドユーザーと事業部門のリーダーに広まる一方で、IT部門は急増するデバイスを管理し、モバイル対応への期待にこたえていくことは、容易ではありません。エンドユーザーが求めているのはシンプルで便利なモバイル環境です。シームレスなユーザー環境、アプリケーションやコンテンツへのセルフ サービス アクセス、高性能かつ最新のデバイスを選択できることなどが求められています。一方、事業部門の責任者が期待するのは、業務用アプリケーションや、従業員、お客様向けのアプリケーションのモバイル プラットフォームへの移行、つまりモビリティによる競争力の強化です。

企業のモバイル デバイス活用が急増する中、ビジネス モビリティが企業の新しい優先事項になっており、イノベーションの加速、お客様対応の強化、従業員の競争力の強化、ブランドの保護、企業評価の維持などが挙げられます。これらの優先事項を達成するには、俊敏性と柔軟性に優れ、セキュアかつ大胆な新しい IT モデルが必要です。VMware のソフトウェアとサービスは、モバイル、デスクトップ、インフラストラクチャにわたり、知的財産、データ、ビジネス運用を保護しながら、革新的なビジネス戦略の推進を支援しており、ビジネス モビリティや、エンタープライズ モビリティ管理などの重要なビジネス上の成果の達成に貢献しています。

AirWatch製品によるソリューション

統合セキュリティと統合管理によって、急増するデバイスを制御することが最初の重要なステップです。VMware AirWatch® Enterprise Mobility Management™ プラットフォームでは、ビジネス プロセスを変革し、新たなビジネス チャンスの開拓や、新しく画期的なお客様とのコミュニケーションを確立することが可能です。

モビリティ管理ソリューションに AirWatch が選ばれる 10 の理由は次のとおりです。

1. モビリティ管理に対する独自のビジョン

AirWatch は、エンタープライズ モビリティ管理 (EMM) について独自のビジョンを確立しています。業界をリードする ID、生産性、コラボレーションに関するソリューションでは、デバイスを問わずにアクセスできるシームレスなデジタル ワークスペースをエンドユーザーに提供します。長期的に使用できるモビリティ プラットフォームでは、さまざまなユースケースを柔軟に管理できるほか、エンドポイントの統合管理や、デバイスからデータセンターにいたる End-to-End のセキュリティ、エンタープライズ システム全体のシームレスな連携も可能です。

2. 実績と信頼

実績のあるテクノロジーがあつてこそ、信頼を得ることができます。世界各国のお客様との信頼関係、トップクラスの業界アナリストによる評価、戦略的パートナーからの信頼によって、AirWatch は市場で最も信頼されている EMM ベンダーとなっています。
顧客基盤: あらゆる業種のグローバル企業 500 社を含む 150 か国以上の 16,000 以上の企業が、AirWatch を利用してビジネス モビリティを推進しています。

モバイル化による有望性

- ビジネス モビリティ戦略の責任者を対象とした調査では、81 %* が、モバイルの機能によって組織のビジネスのあり方が根本的に変わったと述べています。
- モビリティ戦略の責任者の 90 %* は、今後 12 ~ 18 か月にわたって、モバイル テクノロジーへの投資を継続するか増やすことを検討しています。
- CIO の 84 %** が、顧客との緊密なコミュニケーションに必要な投資であると評価しました。
- CMO の 94 %** が、モバイル アプリケーションはデジタル マーケティング プランにおいて重要であると評価しました。

* "The "upwardly mobile" enterprise," IBM Global Business 社, 2013 年

** "The Individual Enterprise," IBM Institute for Business Value, 2014 年 7 月.

アナリストによる評価: Gartner 社が毎年行っている、実行能力とビジョンの完全性に基づく EMM プロバイダの評価では、AirWatch は、6 年連続で EMM のリーダーに位置付けられ、今年も、最高の実行能力とビジョンの完全性を持つとの評価を受けました。

戦略的パートナーシップ: AirWatch は、デバイス メーカー、オペレーティング システムのプロバイダ、モバイル事業者、システムのイノベーター、ディストリビュータ、リセラー、独立系ソフトウェア ベンダー (ISV) とパートナーシップを締結しています。

3. 世界的な展開

AirWatch の顧客基盤は、業界最大規模の 150 か国にわたり、マルチテナント アーキテクチャを利用した VMware のプラットフォームでは、単一のコンソールでグローバル展開をサポートすることができます。

グローバル ネットワーク: テクノロジーのエキスパートで構成される AirWatch のグローバル ネットワークは、16,000 以上の成功事例とベスト プラクティスを共有しており、VMware のサービス チームは、新規および既存のお客様に、迅速な展開サービス、健全性チェック、アップグレード サービス、コンサルティング サービスを提供しています。

ローカル ニーズへの対応: AirWatch のコンソール、アプリケーション スイート、セルフ サービス ポータルは 19 言語で利用可能です。各地域のニーズに合わせて世界各国の従業員をサポートするほか、VMware のグローバル サービスとサポート チームが IT 部門の皆様を支援します。

グローバル データセンター: AirWatch が提供するホスト型の展開は、グローバル データセンターのネットワーク、業界最高レベルのテクノロジー、データを確実に保護する厳格なセキュリティ ポリシーを備えています。

4. 単一のプラットフォーム

エンド ユーザーは、最も使い慣れた生産性の高いデバイスの使用を希望しています。つまり、Android、Apple iOS、BlackBerry、Chrome、Mac、QNX および Windows プラットフォームのスマートフォン、タブレット、およびラップトップから最適なデバイスを選択できるよう望んでいるのです。

AirWatch では、包括的なモビリティ管理プラットフォームを使用することで、あらゆるプラットフォームのエンド ポイントを統合管理し、予想されるさまざまなユースケースに柔軟に対処できます。

AirWatch によるエンド ポイントの統合管理では、最も多くの種類のオペレーティング システムとデバイスをサポートしており、即日でのサポートも可能なおうえ、企業の成長に合わせて拡張し、モバイル ワーカーの増加や顧客基盤の増大にも対応することができます。

5. 統合された業務アプリケーション

生産性の追求が、モバイル化への推進力となる中、AirWatch は、エンド ユーザーが外出中も生産性を維持できるよう、主要なビジネス アプリケーションを配布するソリューションを提供しており、業務アプリケーションと アプリ エコシステムの連携によって、主要なビジネス プロセスをモバイル デバイスへ移行することができます。VMware AirWatch® App Catalog™ では、ネイティブ アプリケーション、Web アプリケーション、Windows アプリケーション、仮想アプリケーションを確認およびダウンロードできるほか、多様なビジネス アプリケーションの連携のサポートに加えて、業務アプリケーションのスイートも提供します。

また、AirWatchでは、アプリケーションのパートナー エコシステムである AppShield を通じて主要な業務アプリケーションを展開できるため、カスタムの内部アプリケ

お客様導入事例**B. Braun 社による BYOD の導入**

ドイツの医療機器メーカーである B. Braun Melsungen AG 社は、従業員が時間や場所を問わずに社内の Eメールやリソースにアクセスできる環境を必要としており、EMM ソリューションとして AirWatch を導入し、iPhone と iPad からなる 9,600 台以上の iOS デバイスを世界中の従業員に展開しました。これらのデバイスのうち約 2,300 台は従業員が所有しているものです。

「AirWatch によって、BYOD に関する組織内でのプライバシー保護の問題に容易に対応できるようになったほか、従業員は、個人所有のデバイスを使用して、世界中のあらゆる場所から社内の Eメールやデータなどにアクセスできるようになりました」

— B. Braun Melsungen AG 社
アーキテクチャおよび開発担当責任者
Martin Runkel 氏

ーションを開発する企業では、必要とする主要なセキュリティ機能と管理機能を拡張する上で、VMware AirWatch® Software Development Kit™と App Configuration for Enterprise のドキュメントに従って開発したアプリケーションの、2 種類の AirWatch ソリューションを利用できます。

6. 個人所有デバイスの持込利用 (BYOD) のための管理フレームワーク

エンド ユーザーは、高性能な最新のデバイスを自由に選択したいと考えています。ユーザーが自身で選んだデバイスで作業すると生産性が向上することは、目に見えて明らかことから、AirWatch の管理フレームワークは、すべての主要モバイル プラットフォームをサポートするように設計されており、包括的でセキュアな BYOD プログラムを実現できます。

また、従業員はデバイスを自由に選択できるうえ、IT 部門から支援を受けることなく、自身のデバイスを BYOD プログラムに容易に加入させることができます。プライバシー ポリシーをカスタマイズできるため、デバイス内の企業データと個人データを所有形態に応じて分離できるほか、利用規約の内容をカスタマイズすることで、キャプチャされるデータやデバイスの使用におけるポリシーに関する通知をユーザーへ送信することも可能です。また、AirWatch では、セルフ サービス ポータルを使用して、従業員自身がデバイスを管理できます。さらに、エンタープライズ クラスのソーシャル ネットワークである VMware Socialcast®では、ユーザーによるピア ツーピアのトレーニングを実施できるため、一般的な問題のトラブルシューティングが可能です。このような点から、AirWatch のソリューションでは、IT リソースを追加せずに包括的な BYOD プログラムを導入できます。

7. End-to-End のセキュリティ

企業リソースへの柔軟なアクセスを提供するエンタープライズ モビリティ ソリューションには、企業リソースの保護機能も必要です。AirWatch は、デバイスからデータセンターにいたるまで、End-to-End のセキュリティを提供します。デバイス レベルでは、End-to-End での暗号化、ユーザー認証、ユーザーの制限によってセキュリティを確保し、ユーザー レベルでは、VMware® Identity Manager™によるユーザー認証と適応性の高いアクセス ポリシーを通じて、信頼できるユーザー ID のみが企業のリソースにアクセスできるようにします。機密性が高いアプリケーション データは、高度なデータ漏洩防止対策 (DLP) ポリシーによって保護され、「プログラムから開く」機能、コピー アンド ペースト機能、共有機能などが制限されます。バックエンド インフラストラクチャへのモバイル接続は、アプリケーション単位の VPN で保護されるか、またはアプリケーション単位の VPN に加えて VMware NSX™のマイクロ セグメンテーションでさらに隔離されます。

8. 強力な自動化ツール

IT 管理者に、予算やリソースを追加することなく、事業部門の要求に常に対応していくことが求められる中、モビリティ管理がさらなる負担となりリソースの転用や IT 部門のスタッフの増員につながることはありません。AirWatch のプラットフォームでは、強力な自動化エンジンによって IT 部門の負荷を軽減することが可能です。動的なスマート グループ機能によって、IT 管理者は割り当てポリシーとアクセス権をユーザーとデバイスの属性にリンクさせることができ、それらは属性の変化に応じて自動的に更新されます。AirWatch のコンプライアンス エンジンは継続的にデバイスを監視しており、順守状態でないデバイスがビジネス クリティカルな業務に影響しないようエスカレーションを行います。順守状態でないデバイスが検知された場合は、事前構成されたエスカレーション フローが自動的に適用され、ほとんどの場合、ポリシーの違反と修正手順がエンド ユーザーに通知されます。高度なレポート作成機能は、80 以上の事前構成済みのレポートが AirWatch コンソールから提供されており、設定されたスケジュール、または必要に応じてエクスポートすることができます。

詳細は、www.dell.com/datasecurity を参照するか、弊社 (DataSecurity@Dell.com) までお問い合わせください。

9. ビジネス成長に対応するスケーラビリティ

エンタープライズ モビリティに求められるプラットフォームは、新しいプロセスをサポートするための拡張性を備え、モバイル ワーカーの増加や顧客基盤の拡大に対応できなければなりません。AirWatch のプラットフォームでは、ビジネスの成長とモバイル戦略の進化に合わせて、環境をシームレスに拡張することが可能です。たとえば、拡張性の高い設計により、マルチテナント アーキテクチャを利用して単一のコンソールでグローバルの展開全体をサポートできるほか、ロール ベースのアクセス制御機能を利用して、各地域や部門に管理を委任することもできます。また、AirWatch コンソール、アプリケーション スイート、セルフ サービス ポータルは 19 言語で利用でき、各地域のニーズに合わせて世界各国の従業員をサポートするほか、VMware のグローバル サービスとサポート チームが IT 部門の皆様を支援します。

10. 統合されたテクノロジー エコシステムと拡張可能な API

業界標準のテクノロジーを基盤とする AirWatch のプラットフォームは、既存のインフラストラクチャと連携し、最大限に活用しながら既存のシステムをモバイル デバイス向けに拡張することができます。AirWatch ソリューションでは、アプリケーションのエコシステムと開発ツールを利用して、重要なビジネス アプリケーションを展開および開発することができます。AirWatch のテクノロジー エコシステムには、主要なデバイスのメーカー、ネットワーク アクセス コントロール (NAC)、証明機関、コンテンツ リポジトリ、ディレクトリ サービス、E メール インフラストラクチャなどが含まれます。拡張可能な API フレームワークを利用することで、主要製品の機能を外部システムが容易に呼び出すことができます。

市場をリードする AirWatch ソリューション

市場をリードする AirWatch ソリューション

ビジネス モビリティはビジネスを拡大する大きなチャンスをもたらしますが、ビジネス クリティカルなアプリケーションや業務運用をモバイル環境へ移行することも必要です。適切なエンタープライズ モビリティ管理ソリューションを選択することで、重要な知的財産とデータを保護できるほか、モビリティを活用したビジネス プロセスと業務運用の変革が可能です。AirWatch ソリューションは、シンプルかつ統合されたセキュリティと管理機能を備え、あらゆるアプリケーションをデバイスや場所を問わずに柔軟に配信でき、大胆な新しい IT モデルのメリットを実現するモビリティ管理プラットフォームです。

AirWatch の EMM の詳細については、www.air-watch.com/jp を参照してください。